　別表第１

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課程・専攻 | 領域，大講座又は協力講座 | 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 |
| (1)博士課程 |  | 世界水準の研究を展開出来る拠点形成を行い，生命医科学の各分野において，高い識見と世界的な広い視野で活躍し，斯界のリーダーとなる研究者及び医療人を養成することを目的とする。 |
| 医学専攻 | 脳・神経医学領域，がん医学領域，循環医学領域，社会環境医学領域，内科系医学領域，外科系医学領域，生殖・発達医学領域 | 生命医科学の各分野において，高い識見と世界的な広い視野で活躍し，世界のリーダーとなる研究者及び医療人を養成することを目的とする。 |
| 薬学専攻 | 医薬科学 | 薬剤師および薬学のための教育・研究のリーダーとして、高度な医療薬学関連の専門知識、実践的な活動能力及び優れた学術的研究能力を有した人材を養成することを目的とする。 |
| (2)博士課程創薬科学専攻 |  | 創薬科学分野における最先端の知識と高い研究能力を兼ね備えた人材を養成することを目的とする。 |
| (博士前期課程) |  | 創薬研究において中心的役割を担う人材の養成を目的とする。具体的には，製薬・化学企業における開発研究者，公的機関での研究者，行政担当者　(医療・厚生・薬事・環境等の分野)などとして活躍する人材を養成する。 |
| (博士後期課程) |  | 創薬研究におけるリーダーの養成を目的とする。具体的には、製薬・化学企業における開発研究者，公的機関での研究者，大学教員，行政担当者　(医療・厚生・薬事・環境等の分野)などとして世界的に活躍する人材を養成する。 |
| (3)博士課程保健学専攻 |  | 21世紀の保健学を先導する知の創成と新しい保健学の学問拠点形成を推進し，健全な保健，医療及び福祉の発展に寄与する人材を養成することを目的とする。 |
| (博士前期課程) | 看護科学領域 | 看護科学，医療科学及びリハビリテーション科学の基盤を究め，保健学を臨地及び学際的に推進し，課題探求能力に優れた全人的高度専門医療人を養成することを目的とする。 |
| 臨床実践看護学 |
| 健康発達看護学 |
| 医療科学領域 |
| 量子医療技術学 |
| 病態検査学 |
| リハビリテーション科学領域 |
| 理学療法科学 |
| 作業療法科学 |
| (博士後期課程) | 看護科学領域 | 看護科学，医療科学及びリハビリテーション科学の臨地及び学際的な教育研究を行い，保健学の発展と人類の健康と福祉の向上に寄与し，地域に貢献し，世界に情報を発信する指導的な研究者及び医療人を養成することを目的とする。 |
| 臨床実践看護学 |
| 健康発達看護学 |
| 医療科学領域 |
| 量子医療技術学 |
| 病態検査学 |
| リハビリテーション科学領域 |
| 理学療法科学 |
| 作業療法科学 |
| (4)修士課程 |  | 生命科学，基礎医学及び臨床医学を体系的及び集中的に教育し，医学研究者並びに医療及び産業分野での専門的職業人を養成することを目的とする。 |
| 医科学専攻 |  | 医学を基盤に持ち，実験科学を中心として病態解析及びその克服等を視野に入れた教育を行い，医学分野での研究者及び生命科学に関する専門的職業人を養成することを目的とする。 |